

渡島・檜山地方の気象

平成22年春（3～5月）のまとめ（2010年）

函館海洋気象台

平成22年6月30日

◎ 平成22年春（3～5月）の天候 — 「低温・多雨・寡照」

【気温】

3か月の平均気温は3.8～6.5℃で、平年差は-1.3～-0.6℃となり、すべての観測点で平年より低く、特に八雲町八雲・松前・八雲町熊石・せたな町瀬棚・今金・厚沢部町鶉では平年よりかなり低かった。

【降水量】

3か月の降水量合計は166.5～748.5mmで、平年比は63～200%となり、今金で平年よりかなり少なく、乙部町潮見で平年並のほかは、平年より多く、特に長万部・八雲町八雲・函館市川汲・函館市美原・松前・七飯町大沼・福島町千軒・江差では平年よりかなり多かった。

【日照時間】

3か月の日照時間合計は360.7～454.2時間で、平年比76～92%となり、すべての観測点で平年より少なく、特に函館市川汲・函館市美原・松前・厚沢部町鶉・江差では平年よりかなり少なかった。

◎ 月ごとの概況

【3月】「低温・多雨・寡照」

この期間の天気は周期的に変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷が通過した影響でぐずついた天気の日が多く、特に20～21日は低気圧が発達しながら通過し、荒れた天気となった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除き平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【4月】「低温・多雨・寡照」

この期間の天気は、高気圧に覆われ晴れた日もあったが、中旬以降低気圧や寒気の影響を受け雨や曇の日が多く、気温は低めに経過した。

月平均気温は平年より低く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は平年より少なかった。

【5月】「低温・多雨・寡照」

この期間の天気は周期的に変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で、ぐずついた天気の日が多く、特に7日は低気圧からのびる寒冷前線の通過で、大雨になったところがあった。また、上旬の終わりから中旬の始めと下旬の後半に寒気が流入した影響で、気温の変動が大きかった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除き平年並～平年より多く、月間日照時

間は平年並～平年より少なかった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成 22 年春（3～5 月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函 館	5.8	-0.7 (低い)	312.0	147 (かなり多い)	453.8	82 (かなり少ない)
江 差	6.4	-0.6 (低い)	348.5	154 (かなり多い)	360.7	76 (かなり少ない)

(注) 表中平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

月	要素名	順位	地点名	観測値	これまでの記録	統計開始年
3 月	3 月における、降雪の深さの合計	3	函館	69cm	69cm 1994 年 3 月	1953 年
	3 月における、月間日照時間の少ない方から	2	江差	73.5h	81.9h 1947 年 3 月	1941 年
4 月	4 月における、日最大 10 分間降水量	3	函館	3.0mm 29 日	3.0mm 1993 年 4 月 24 日	1940 年
	4 月における、日最大 10 分間降水量	3	江差	4.0mm 29 日	4.0mm 1993 年 4 月 24 日	1941 年
5 月	5 月における、日最大 1 時間降水量	3	江差	19.0mm 7 日	18.7mm 1965 年 5 月 7 日	1941 年

○ さくらの開花

今年のさくらの開花日は、3 月と 4 月にかけて平年より気温が低めに経過したため、平年より遅い開花となった。

	本年	平年差	前年差
函 館	5 月 5 日	2 日遅	10 日遅

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成 22 年寒候期（平成 21 年 10 月～平成 22 年 5 月）の各種資料

○ 長期積雪（根雪）と霜の終日（江差は観測していない）

長期積雪（根雪）の終日は、3 月上旬にまとまった降雪があったため、平年より遅かった。

霜は、4 月下旬の低温の時期で終日となった。

	長期積雪（根雪）の終日			霜の終日		
	今季	平年差	前年差	今季	平年差	前年差
函 館	3 月 19 日	5 日遅	11 日遅	4 月 25 日	10 日早	21 日早

○ 月別および寒候期降雪量の合計

11月上旬に冬型の気圧配置となり、その後は周期的に発達した低気圧の接近や通過により雪が降り、函館では1月における降雪の深さの月合計が極値を更新したが、江差では大雪になることはなかった。4月の下旬に低気圧の影響で雪が降ったが積雪とならなかった。

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10月～5月
函館	降雪量 (cm)	—	12	129	156	73	69	—	—	439
	平年比 (%)	—	40	143	131	72	130	0	—	110
江差	降雪量 (cm)	—	1	72	90	82	17	—	—	262
	平年比 (%)	—	7	96	74	81	31	0	—	71

注) :10月と5月は、平年の降雪量が0～2cmと少ないので平年比を求めている。

:数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

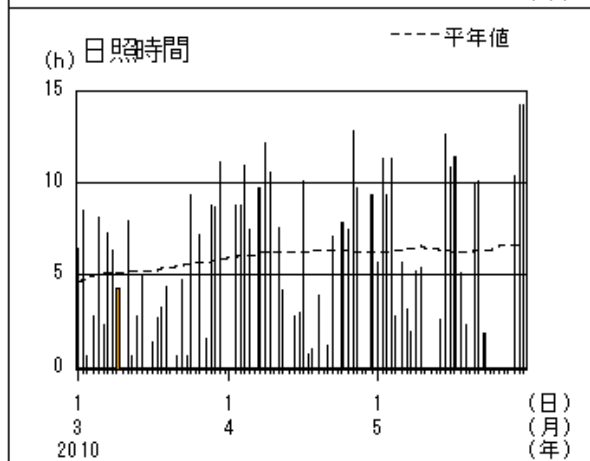
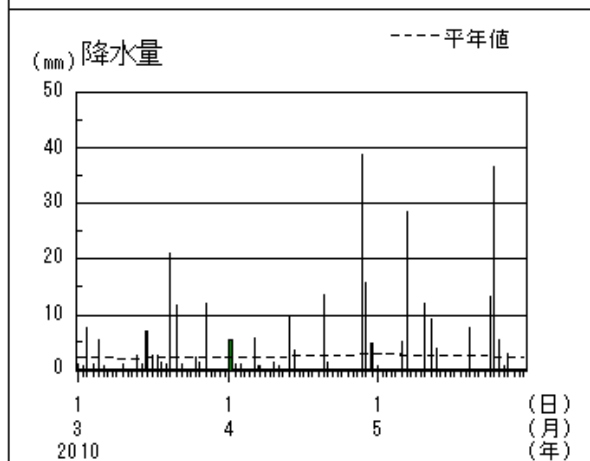
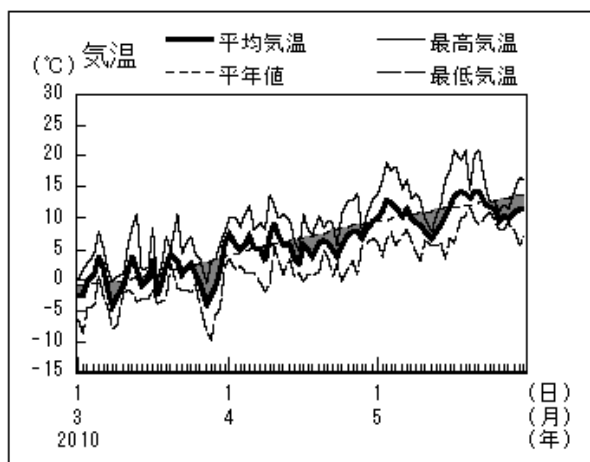
◎ 異常気象および気象災害発生状況

3月12日～13日 【渡島地方】 強風害	低気圧が発達しながらサハリンを通過し、伴う寒冷前線が13日未明から明け方にかけて渡島地方を通過した。その後冬型の気圧配置となった。 このため強風の影響により、函館市で住家の屋根が飛ばされる被害、高压線が断線し停電など電力障害、看板倒壊など被害が発生した。
3月21日 【渡島地方】 強風害 海上波浪害	発達した低気圧が21日北海道を通過し、その後冬型の気圧配置が強まり西よりの強風となり荒れた天気となった。 このため強風や海上のしけの影響により、函館市で住家や非住家の屋根が飛ばされる被害、電柱破損等による停電など電力障害、その他街路灯破損や街路樹の倒木。森町・八雲町で営農施設の一部損壊など農業被害。JRの運休や遅れ、函館市電や函館ロープウェイの一時運転見合わせ、フェリーや航空機欠航など交通障害が発生した。
4月13日～14日 【渡島地方】 【檜山地方】 強風害 海上波浪害 沿岸波浪害	13日の朝日本海北部にあった低気圧が急速に発達しながら北東に進み、14日の日中にはサハリン付近に達した。このため渡島・檜山地方では気圧の傾きが急となり、強風となった。 このため強風や海上のしけの影響により、乙部町で強風に煽られ転倒する人的被害。奥尻町・せたな町・今金町・福島町・知内町・函館市・八雲町でビニールハウス一部破損など農業被害や住家や非住家の一部損壊する被害が広域で発生。高波の影響で道道一時通行止。バスの運休やフェリー欠航など交通障害が発生した。
4月27日～28日 【渡島地方】 強風害 沿岸波浪害	中国東北区と日本の南に低気圧があって、北海道付近は気圧の傾きが急となり、南から湿った空気も流入し強い風と雨の荒れた天気となった。 このため強風の影響により、函館市で住家のトタン屋根や外壁剥離など被害、高压線が断線し停電など電力障害。長万部町で営農施設が一部損壊する農業被害やホタテ養殖施設の流出など漁業被害が発生。JRで部分運休や函館ロープウェイの運転見合など交通障害が発生した。

◎ 気象経過図 平成 22 年春

地上気象：2010年3月1日-2010年5月31日

函館



江差

